



National Hospital Organization
Kokura Medical Center

かもめ
鷗

2014年
春・夏号

contents

新任のご挨拶	2
新任医師のご紹介	3
幼児における食育の取り組み	5
ふれあい看護体験	6
外来診療担当表	7
西日本肥満研究会案内	8

この街にはこの病院があるから
住みたいと思われるような
病院になりたい。
これが私たちのテーマです。



平尾台（石灰岩が散在するカルスト台地）

よろしく願いたします

新任のご挨拶

進歩に対応した小児医療の提供に努めて参ります



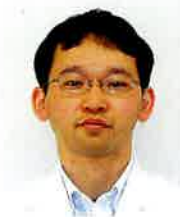
成育医療センター
(小児外科)部長
しょうの たけし
生野 猛

このたび国立病院機構小倉医療センターに成育医療センター部長として着任いたしました。1981年に九州大学医学部を卒業した後、九大小児外科に23年間勤務し、その後北九州市立医療センターに1年半、佐賀県医療センター好生館に7年間、小児外科医として勤務して参りました。その間、先天性食道閉鎖症や腸閉鎖症、鎖肛、横隔膜ヘルニアなどの新生児疾患をはじめ、鼠径ヘルニア、急性虫垂炎、先天性水腎症、停留精巣、陰囊水腫、包茎などの小児外科疾患あるいは小児泌尿器疾患の手術を6000件あまり経験させて頂きました。近年、小児医療は進歩には目覚ましいものがあり第1に周産期・新生児医療の充実があげられます。胎児エコー検査などで重症疾患が判明した場合、新生児治療が可能な施設に母体搬送して予定出産で産ませると、出生後数秒と待たずに処置が行われ、多くの新生児疾患の救命が可能になってきました。またNICUの充実により1000g以下の超低出生体重児の手術症例など、以前には救命困難であった症例の多くが救命可能となっています。第2は小児の長い将来のQOL向上を考慮したステルス手術など新しい手術手技が導入です。手術創を臍上縁または下縁にした手技により、術後に全く傷の見えない手術が、新生児の先天性腸閉鎖症や腸回転異常症などに安全に行われるようになりました。第3は小児における腹腔鏡手術の導入であります。低侵襲で術後の整容性に優れた腹腔鏡手術が、小児の鼠径ヘルニアや急性虫垂炎で広く行われるようになり、今では鼠径ヘルニア、急性虫垂炎、先天性水腎症等などに対して多くの腹腔鏡手術が行われています。

浅学菲才の若輩者ではございますが、北九州地区におきましても皆様のご期待に添えますようこれからも頑張ってお参りたいと存じますのでご指導、ご鞭撻程よろしく願い申し上げます。

なお、小倉医療センター小児外科スタッフはこれまでの生野久美子、橋本佳子に加えてこれからは3名体制となりました。今後とも益々のご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

地域の精神科医療のお役に立てるように



精神科医長
なかじま やすひろ
中島 康裕

村川医長の異動に伴い、4月より後任として精神科医長を務めることとなりました。この場をお借りして、ご挨拶と当科のご紹介をさせていただきます。

当院精神科は、閉鎖病床50床を有し、医師、看護スタッフに加え、病棟専属の精神保健福祉士1名が在籍しています。医師は7名(そのうち精神保健指定医2名)で、九州大学精神科から派遣された若手が主力となり、皆、熱意を持って診療に励んでいます。

入院治療は、身体合併症治療と重度精神障害を対象にした修正電気けいれん療法を診療の2本柱とし、加えて軽症気分障害の方の休養入院も行っています。

外来診療は、一般外来、ものわすれ外来に分かれています。もの忘れ外来は、検査等の都合から予約制とさせていただいております。ものわすれ外来では、頭部MRI、MMSEといった基本的な検査に加え、病状に応じてビタミン、内分泌検査、SPECT、MIBG心筋シンチ、心理士による心理検査等も組み合わせて診断を行い、適切な治療と福祉サービスに繋がるよう努めています。

地域のメンタルヘルスの窓口として、精神科一般外来の新患は、午前11時までには御来院いただければ、予約なしで診療しています。もし既に精神科かかりつけの先生がある場合は診療情報提供書をお願いしております。当院一般病棟入院中の患者さんの、せん妄や抑うつなどの精神的な不調についても各科からのコンサルテーションに対応しております。

また、国立病院機構は新しい医薬品、治療法の開発に向けて治験に積極的に取り組んでいます。当科でも、治療抵抗性うつ病やアルツハイマー型認知症に対する治験が現在進行中です。教育の面では、当科は日本精神神経学会専門医制度の研修施設認定および総合病院精神医学会専門医制度の特定研修施設認定を受けており、専門医取得を目指して研鑽を積むことも出来ます。

今後も、こうした当科の特色を引き続き生かし、何よりも皆様との連携を大切に、少しでもお役に立てるよう努力していきたいと存じます。行き届かぬ点も多いかと存じますが、今後とも当科をご活用いただけましたら幸いです。何卒、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新任医師のご紹介

わたなべ てつひろ
渡邊 哲博

- ①内科(糖尿病・内分泌)
- ②
- ③糖尿病・内分泌疾患を中心に幅広く内科診療に取り組んでいきたいと思っています。安全で安心していただける医療を提供できるように努力していきますのでよろしくお願いします。

てらまつ かつひと
寺松 克人

- ①消化器内科
- ②映画鑑賞
- ③未熟者ですが誠心誠意診療に臨んでいく所存です。よろしく申し上げます。

みなみ さき
南 沙希

- ①内科(糖尿病・内分泌)
- ②
- ③卒業3年目、内科レジデントの南と申します。精一杯頑張りたいと思います。宜しくお願い致します！

ひが はやと
比嘉 逸人

- ①精神科
- ②
- ③精一杯頑張ってます。よろしくお願いします。

くらた かなこ
倉田加奈子

- ①外科
- ②テニス・料理
- ③卒後4年目の倉田と申します。未熟ですが精一杯頑張りますので、よろしくおねがい致します。

うえはら じんぺい
上原 慎平

- ①整形外科
- ②筋トレ
- ③経験も浅くご迷惑をかけると思いますが、全力で頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

おがた れいな
緒方 怜奈

- ①小児科(小児神経)
- ②美味しいものを食べること
- ③子供達が笑顔で過ごせるよう頑張ります。

①専門は？ ②ご趣味は？ ③抱負をお願いします！

すえなが ふみひこ
末永 文彦

- ①消化器内科
- ②旅行
- ③内科レジデントとして一年目です。まだまだ未熟ですが、精一杯頑張りますので宜しくお願いします。

きたじま けいこ
北島 慶子

- ①内科(糖尿病・内分泌)
- ②旅行
- ③糖尿病・内分泌を中心とした内科を診療させていただきます。未熟なところが多いと思いますが、よろしくお申し上げます。

しながわ まこと
品川 誠

- ①精神科
- ②音楽鑑賞
- ③精神科2年目です。がんばっていききたいと思います。よろしくお願いします。

ながまつ いおり
永松 伊織

- ①外科
- ②ランニング・野球観戦
- ③北九州市八幡西区出身の永松と申します。地元の医療に貢献できるよう精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

くちいし りんたろう
口石倫太郎

- ①整形外科
- ②ゴルフ
- ③整形一般を担当させていただきます口石倫太郎と申します。一生懸命頑張りますので宜しくお願いします。

わたぬき けいすけ
綿貫 圭介

- ①小児科(小児アレルギー)
- ②釣り・ドライブ
- ③北九州での勤務は初めてですが、精一杯頑張りたいと思います。小児アレルギー科医として地域に貢献できるよう精進しますので、どうぞ宜しくお願い致します。

さわの とおる
澤野 徹

- ①小児科(小児一般)
- ②
- ③精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

新任医師のご紹介



やすおか かずあき
安岡 和昭

- ①小児科(小児一般)
- ②カラオケ
- ③卒後5年目の安岡と申します。皆様と元氣よく、より良い医療の為に頑張っていますので、何卒よろしく願いいたします。



やました ふみや
山下 文也

- ①小児科(小児一般)
- ②スポーツ、スポーツ観戦
- ③今年度より小児科医として働くこととなりました。知識、経験ともに未熟ですが全力で頑張りますので、よろしくお願い致します。



きた かずよ
北 和代

- ①皮膚科
- ②映画鑑賞
- ③地域の皆様に貢献できるようにがんばりますので、宜しくお願い致します。



かわしま まりえ
川島麻里江

- ①産婦人科
- ②バスケット
- ③知識・経験ともに未熟ですが、女性と赤ちゃんのために頑張ります。ご指導の程、よろしくお願い致します。



なべしま たかひろ
鍋島 崇寛

- ①眼科
- ②水泳・ダイビング
- ③眼科を選択し、初めて小倉勤務となりました。手術加療を中心に取り組んでいきたいと思っております。ご迷惑をおかけするとは思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



おだわら ゆうこ
小田原裕子

- ①放射線科
- ②旅行
- ③しっかり勉強していきたいと思っております。よろしくお願い致します。

新任研修医のご紹介



ばば いさし
馬場 功士

- ①臨床研修医
- ②読書
- ③今年度から2年間、初期研修医としてお世話になります。分からないことばかりで色々ご迷惑をおかけすると思っておりますが、精一杯頑張りますので何卒宜しくお願い致します。



おの ゆみか
小野結美佳

- ①臨床研修医
- ②弓道
- ③4月から2年間初期研修医としてお世話になります。まだまだ未熟ですが、精一杯、誠実に頑張りたいと思っております。よろしくお願い致します。



こが さとこ
古賀 聖子

- ①臨床研修医
- ②音楽
- ③初期研修医として医師のスタートラインに立つことができました。真摯に精進してまいります。ご指導のほど宜しくお願い致します。



きむら りょうた
木村 竜太

- ①臨床研修医
- ②散歩、ドライブ
- ③5人の仲間とこちらで研修をスタートさせていただけることを、とても嬉しく思っております。一日一日を大切に研修に取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



すえつぐ りょうこ
末次 亮子

- ①臨床研修医
- ②読書
- ③とにかく一生懸命頑張ります。一年間という短い期間ですが、どうぞよろしくお願い致します。



ひがき まいこ
檜垣 舞子

- ①臨床研修医
- ②旅行
- ③1日が終わるときに、「今日は新しくこれ学んだ、今日はこれができるようになった」と、日々実感できるように頑張ります。宜しくお願い致します。

TOPICS

小倉医療センター

幼児における食育の取り組み ～親子の会話を広げ隊(栄養管理室)～

当院では、管理栄養士が医師の指示のもと治療の一環である病態に応じた食事提供を行っています。幼児期は一生を通じての食事リズムや嗜好の基礎や食への興味・関心を作る重要な時期ですが、飽食時代のわが国において、国民の食生活は多様化しているため子供をとりまく食の問題も多様化し、幼児期に獲得した食習慣が将来の健康へ影響を及ぼすことが懸念され、またスマートフォンやテレビの普及によって食事時の親子の会話が減少する傾向がみられます。

そのような背景から小児科医長・尾上先生の「食事の時間は親子の愛情時間、会話の広がる食事を提供して欲しい」という想いをうけ、平均在院日数7日【小児科のみ】と短いですが、一期一会の食育を大切にしたい取り組みを紹介させていただきます。

目的は①『親子の会話の広がる食事』となる②提供した食事を通じて、成人病予防の観点から幼児期に学ぶべき食事・食材についての知識を保護者が認知できる、としました。

テーマ

『旬を食べよう』

内容：リーフレットにて、四季の恵である食材の旬について説明し、冬が旬の食材で献立作成を行いました。親子の会話に繋がるよう、ランチプレートに冬をテーマにした可愛い盛り付けを施しました。



テーマ

**『よく噛む子を目指そう』
ひみこの歯がーぜ**

内容：リーフレットにて、日本咀嚼学会の標語(ひみこのはがーぜ)を引用し噛む事の効用について説明し、かみかみ献立を作成しました。ご家庭でも取り組める手作り野菜プリッツは好評でした。(人参・ほうれんそう)



テーマ

『薄味美味しく食べよう』

内容：リーフレットにて、他国と比べ日本人および近年の幼児における塩分の摂取状況が過剰であることを示し、成人病予防の観点から塩分の適正摂取の必要性を説明しました。薄味で美味しい和食(乳和食：New和食)のレシピを紹介し乳清御飯で一口サイズおむすびマンをたくさん作りました。病室からは親子の会話と笑顔が溢れていました。





新生児センターでの赤ちゃんとの出会い

高校生20名が参加 ふれあい看護体験

●副看護師長 井上 けい子

高校生の感受性に感激

5月25日に、看護場を体験することで看護職に対する関心を深めてもらうことを目的に「ふれあい看護体験」を実施しました。参加者は近隣の高校生20名。まずは白衣に着替えて記念撮影し、病院見学を行いました。新生児センターの見学では、「保育器の中でいっぱい管をつけているのに、赤ちゃんが生きていて自分も一生懸命に生きていきたいと思いました。」と話してくれました。私はそのような思いを抱ける高校生の感受性に感激しました。



白衣に着替えた高校生たちと記念撮影



初めての聴診器にドキドキ

看護の喜びを体験

次に各病棟で看護体験をしてもらいました。初めて触る聴診器で心臓の音を聞くことは驚きの体験となり、患者さんの手浴介助では「ありがとうございます」と患者さんに言ってもらえて喜びも体験できたようです。病棟での看護体験を終え、高校生と担当看護師で意見交換会を行いました。高校生からは、「看護師は力仕事が多いと感じた。」「コミュニケーション力が大切と思った。」など、看護をする上で重要な点を感じとってくれたようです。

ふれあいを通して感じること

また、「看護師をしていて、どんな時にやりがいを感じますか?」と質問もありました。「感謝の気持ちを伝えてもらったときは嬉しい」と伝えました。今回のふれあい看護体験で患者さんから「ありがとう」と言われた学生もおり、参加してくれた高校生の皆さんは、今回の体験を通して、看護職における「やりがい感」を実感してくれたようでした。ふれあい看護体験での学生の反応などを通し、私自身も命の尊さや看護職とは何かを改めて考えさせられました。本当に素敵な体験をした1日でした。

小倉医療センター 外来診療担当表

[平成26年7月1日現在]

診療科	月	火	水	木	金	備考
内科一般(新患)【内線208】	渡邊 哲博	田中 奈津子	正月 泰士	南 沙希	北島 慶子	
肝臓内科 【内線208】	佐藤 丈顕	佐藤 丈顕	佐藤 丈顕 山下 晋作	山下 晋作 正月 泰士	山下 晋作 正月 泰士	
血液・感染症内科 【内線208】	武藤 敏孝	高月 浩	武藤 敏孝	高月 浩		
糖尿病・内分泌代謝内科 【内線208】	足立 雅広 田中 奈津子 北島 慶子	岡嶋 泰一郎 足立 雅広 渡邊 哲博	澄井 俊彦 渡邊 哲博 田中 奈津子	岡嶋 泰一郎 足立 雅広 北島 慶子	足立 雅広 渡邊 哲博 南 沙希	
呼吸器内科 【内線208】	日高 孝子	坂本 篤彦		木下 義晃		
循環器内科 【内線202】	高山 成政	鈴木 哲	高山 成政	鈴木 哲	◆	◆他院より派遣医師
消化器内科 【内線205】	澄井 俊彦 山口 裕也 ◎山口裕也(午後)	山縣 元文 末永 文彦	山口 裕也 寺松 克人 ◎山口裕也(午後)	山縣 元文 末永 文彦	山口 裕也 寺松 克人 ◎山口裕也(午後)	◎瞬外来(午後予約のみ)
外科一般 消化器外科 【内線205】	※堤 宣翁 森松 克哉	※品川 祐治 豊福 篤志 田邊 麗子	※廣吉 元正 倉田 加奈子 ◇轟木 秀一	※空閑 啓高	※轟木 秀一 永松 伊織 ◇廣吉 元正	※印 新患担当 ◇印 予約再来のみ
呼吸器外科 【内線205】				田村 和貴 生田 安司		
乳腺外科 【内線205】					轟木 秀一	
整形外科 【内線203】	清水 敦 坂本 昭夫 口石 倫太郎	【手術日】	清水 敦 坂本 昭夫 口石 倫太郎	【手術日】	清水 敦 坂本 昭夫 口石 倫太郎	※手術日の急患・紹介に 関しては事前にご連絡を お願いします。
小児科 【内線209】	尾上 泰弘 安永 由紀恵	安永 由紀恵 綿貫 圭介 ☆渡辺 恭子 ☆緒方 怜奈	柴田 裕介 安永 由紀恵 ◎山口 賢一郎	尾上 泰弘 安永 由紀恵 ☆緒方(初診)	安岡 和昭 尾上 泰弘 ◎山口 賢一郎 △綿貫 圭介 ☆渡辺 恭子 ☆安永 由紀恵	◎循環器外来 △アレルギー外来 ☆神経外来(予約制) 特殊外来の予約は小児 科外来へ15時まで予約
小児外科 【内線209】	当番医 【手術日】	生野 猛 生野 久美子 橋本 佳子	当番医 【手術日】	生野 久美子 【手術日】	橋本 佳子	月・水は新患のみ (予約不可)
産科・婦人科 【内線204】	牟田 満 川上 浩介 西村 和朗 長尾 弘子 ※大藏 尚文 ※ウロレスキ順子	(院内応援医師) ※熊谷 晴介 【手術日】	大藏 尚文 川上 浩介 吉満 輝 村上 緑 ※川越 秀洋	大藏 尚文 川越 秀洋 那須 洋紀 ※牟田 満 ※熊谷 晴介	(院内応援医師) ※ウロレスキ順子 長尾 弘子 【手術日】	※印 新患担当 新患は紹介患者様のみ
泌尿器科 【内線213】	【休診】	◆	【休診】	【休診】	◆	◆他院より派遣医師
皮膚科 【内線214】	北 和代	北 和代	北 和代	北 和代	北 和代	
眼科 【内線212】	鍋島 崇寛	松本 時子 (九州大学派遣) 【手術日】	宮城 美智子 (九州大学派遣) 鍋島 崇寛	鍋島 崇寛 【手術日】	鍋島 崇寛	火・木は 10:30で受付終了
精神科 【内線215】	中島 康裕 阪口 喜寛 松尾 武 ※高橋 潤一	中島 康裕 高橋 潤一 品川 誠 ※執行・比嘉	中島 康裕 執行 正倫 品川 誠 ※阪口 喜寛	中島 康裕 執行 正倫 阪口 喜寛 高橋 潤一 ※品川 誠	執行 正倫 阪口 喜寛 比嘉 逸人 ※中島・松尾	※印 新患及びもの忘れ 外来担当 もの忘れ外来は精神科 外来へ15時までにて要予約
放射線科 【内線231】	塩崎 宏	塩崎 宏	三浦 亘智	塩崎 宏	三浦 亘智	
耳鼻咽喉科 【内線206】	【休診】	◆	【休診】	【休診】	◆	◇九大より派遣医師
消化管内視鏡 【内線379】	山縣 元文 末永 文彦	山口 裕也 寺松 克人 山下 正月	山縣 元文 末永 文彦	山口 裕也 寺松 克人	山縣 元文 末永 文彦	

★受付時間／午前8:30~11:00 (急患については、この限りではありません)

★学会などにより担当医が変更になることがあります。

第22回西日本肥満研究会

Western Japan Society for the Study on Obesity

会期

平成26年 7月26日(土)・27日(日)

会場

九州大学医学部百年講堂(福岡市)

福岡市東区馬出3丁目1番1号 TEL 092-642-6257

会長

岡嶋泰一郎 国立病院機構小倉医療センター院長

ホームページ <http://www.kokura-hp.jp/himan/index.html>



第22回西日本肥満研究会事務局
国立病院機構小倉医療センター
代謝内分泌内科 (担当) 足立雅広
〒802-8533北九州市小倉南区春ヶ丘10-1
TEL:093-921-8881 FAX:093-922-5072
e-mail: 22wjss@kokura2.hosp.go.jp

運営準備室
アンプロデュース株式会社
810-0041 福岡市中央区大名1-8-35
TEL:092-401-5755
Fax:050-3488-2692
e-mail: 22wjss@anuproduce.com



2014年/春・夏号

発行/小倉医療センター地域医療連携室
発行日/2014年6月



独立行政法人国立病院機構 小倉医療センター

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10-1

TEL 093-921-8881 FAX 093-921-8892 (地域医療連携室直通)

HP <http://www.kokura-hp.jp/>
renkei@kokura2.hosp.go.jp